



アイズ

藤井たかひろ

〔アイズ〕目線,合図・相図,愛ず

発行:藤井たかひろ後援会事務所

討議資料

発刊にあたって

早いもので、市議会議員となって3ヶ月が過ぎようとしています。私にとっての初議会である平成25年12月第6回市議会定例会も終わりました。

議員としての活動や議会・行政の様子を知っていただくことが私にとって重要な役割だと考えます。様々な会合や行事に参加し、直接お話をしたりご意見を伺うことが一番です。しかし、その場も限られています。市議会もテレビ中継が入っていますが、全ての方がご覧いただいているわけではありません。

市民にとって身近な市議会のことを多くの市民の皆さんに知っていただきたい。皆さんと共に、よりよいまちづくりを進めるために、たより「アイズ」を発行することといたしました。「アイズ」というネーミングは目線(市民目線: Citizen eyes シチズン アイズ)、合図・相図(①意思や事柄を知らせる②約束)、愛ず(共生する、互いに大切に: 藤井の造語)からきています。

「アイズ」は、定期的に議会報告や活動状況・考えなどを載せてまいります。また、「アイズ」は皆様のご意見を伺う中でより充実した内容となるよう改善します。「アイズ」が「くらしよし倉吉を元気に」、「住みたい、行きたい、帰りたいまち倉吉」の一助となれば幸いです。

大切にしていること

皆さんにも「大切にしていること、がんばっていること」があると思います。今、私の中では2つのことがあります。一つは、ホームページです。

昨年の8月中旬から後援会のホームページを立ち上げました。いろいろ調べたり、知り合いに手伝ってもらったりでスタートまでに結構時間がかかりました。

ホームページは、自分の考えや出来事など情報を発信するにはよい方法だと思います。ツイッターやフェイスブックにも挑戦したいと考えています。「アイズ」よりも詳しい情報も載せていますのでぜひご覧下さい。ホームページ等に堪能な方のお力をお貸しいただければありがたいです。

二つ目は、朝の登校ボランティアです。私は、昨年の3月までは小学校に勤務していました。退職後も子どもたちと関わりを持っていたい、生活のリズムを整えて健康でありたいと考え、昨年4月から続けています。

登校ボランティアを始めてから改めて感じたことがあります。それは、「倉吉の子どもたちは多くの方に見守られている、地域の宝として大切にしている」ということです。社小学校、明倫小学校、上北条小学校と市内の学校にお世話になり、学校は地域との関わりが大切なことは分かっていたつもりです。しかし、地域の一員として子どもたちを見る時「地域の中の学校」という言葉を実感しています。これからも出来る限り子どもたちとの関わりを持ち続けたいと考えています。



藤井たかひろは、「くらしよし倉吉」を元気に、「住みたい、行きたい、帰りたいまち倉吉」としていくために5つの姿勢を大切にします。そのために5つの作戦を中心とした政策を進めていきます。活動内容をお知らせすること、身近である市政に関心を持っていただけるよう「アイズ」やホームページ <http://mei25kami6.sakura.ne.jp/www/>(くらしよし倉吉 藤井たかひろ後援会等での検索もできます)を開設して情報を公開しています。

藤井たかひろの姿勢・作戦

- 現場主義 ①倉吉財政ヘルシー作戦
- 情報公開 ②倉吉未来キラキラ作戦
- 柔軟な思考 ③倉吉魅力アップ作戦
- 選択と集中 ④倉吉スマート作戦
- ブレない政治 ⑤倉吉リフォーム作戦

やるき! 本気! 勇気!

藤井たかひろ後援会では、共に知恵と汗を分かち合い、よりよい倉吉としていくために皆様のご理解と後援会入会をお願い申し上げます。

入会ご希望の方は、電話・FAX、メール等でお知らせ下さい。また、ホームページでは「藤井たかひろ後援会」に関する情報も載せていますのでご覧下さい。



『藤井』 会派市民の藤井隆弘でございます。会派市民は、市民目線
で市民の市民による市民のための市政の推進を進めて参ります。また、
私は「くらしよし倉吉をもっと元気に」「住みたい、行きたい、帰りたい
まち倉吉」をテーマにし、1つの宣言と5つの作戦を訴えて参りま
した。このことを踏まえて一般質問に入らせていただきます。

(1) 総合計画を中心とした市政の課題と成果について

『藤井』 市政の推進にあたっての倉吉市第11次総合計画の位置づけをお伺いする。また、総合計
画に沿った計画と予算の一体化がきちんと進んでいると考えているか。

『市長』 第11次総合計画は、市政の柱、予算の柱となるビジョンであるにとらえている。計画と
予算の一体化という面では、予算は予算として編成しながら、11次総の描くビジョンにつながる
ようなものとしたと考えている。

『藤井』 総合計画の評価と改善にあたって、どのような方法や指標で評価しているか。また、評価
を踏まえて改善をしていくために何が重要だと考えているか。

『市長』 総合計画の中に成果指標を設けている。その達成状況を市民調査や数値などを用いて、達
成状況を取りまとめて評価して公表していきたいと考えている。

『藤井』 鳥取市や米子市では総合計画に関わっての取組状況がホームページ等で公表されている。
これが市長の自己評価、市政の評価だと思うが、どのように考えるか。

『市長』 11次総の評価結果の公表については、まもなく公表できるのではないかと考えている。
近いうちにホームページなどで公表したい。

(2) 意欲を持って働く職場づくり・人事管理について

『藤井』 市役所の職員の働きぶりについて、どのように感じておられるかお尋ねする。

『市長』 職員は相対的にはよくやっている。職員数が減り、業務量が減っていない中で、職員もよ
く勉強しながらやっている。そういう面は評価している。

『藤井』 適材適所とするための配置換えの手順や考え方は？また、職員のやる気や能力を向上させ
るための人事評価や人材育成・研修は？

『市長』 基本的に3年程度を目安にやっていきたいと思っている。自己申告書を提出させ、本人の
意向を把握、適性や資質を見極めながら適材適所の人事配置をやっている。職員の能力開発は、県
の人材開発センターを活用して階層別、職員の能力開発など自己啓発に努めている。

『藤井』 メンタルヘルス面のフォローや管理職による配慮等はどのようになっているか。職務実態
の把握という面で課題だと考えている面はないか。

『市長』メンタル的に障害を持ってしまう職員もいるのも事実。病気や休職をしてしまう職員もいる。
ほとんどの職員は現場復帰をしているので、休むことも悪いことではないことを職員に理解してもら
いながら、がんばれる職場作りに努めていきたい。ワーキンググループなどいろいろな取組が意
味を持つてくる。

(3) 学びのための環境整備について

『藤井』 悪天候時、学校はどのような場合に休校となるのか。保育所・学校は倉吉市の指定避難所
となっているが、耐震性等安全な建物であるという認識でよいか。

『教育長』 原則的には午前6時の段階で警報がでていた場合休校としている。
場合によっては状況を見ながら柔軟な対応をしている。

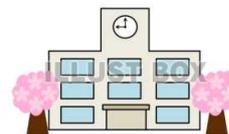
『藤井』 倉吉市の現状のエアコンの設置率、洋式トイレの整備状況は？

『教育長』 エアコンの整備状況は、本年度末で32%の予定。洋式トイレに
ついては、市内の学校全体としては37%。

『藤井』 エアコンは管理諸室は97%、普通教室は平均で4%である。洋式トイレについては92
%から7%と差がある。倉吉市立公立保育所は子どもたちの使う部屋のエアコン設置率は78%、
洋式トイレについても小中学校より進んでいる。平成22年12月議会での普通教室へのエアコン
の設置についての教育長と市長の答弁を踏まえ、前向きな答弁をお願いする。

『市長』 確かに夏の暑さは半端じゃないということでもあり、教育委員会と相談しながら、必要な
箇所についてはつけていくというスタンスでいきたい。

『教育長』 暑さは続いている。この点からいくと避けては通れないところである。現状では学校の
耐震化は県内でも最低水準なので、これをまず進めている。



4) 土曜授業の実施について

『藤井』 土曜授業の実施に関して、国や県の動向、倉吉市の現状を踏まえて、取組の経過と方向性
について教育長の考えをお聞きする。

『教育長』 様々な状況を踏まえ倉吉も実施に踏み切ることとした。土曜日の午前中3時間をあて、実施にあたっては市内の学校で統一的に小中学校ともふるさと学習を中心とし、校長やPTAとも話をしながら進めていく。

『藤井』 土曜授業の実施に関しては、円滑に実施するための手だてをしっかりとっていただくこと、現場の声を聞きながらスムーズなスタートができるようお願いする。



一般会計補正予算について 平成25年12月9日（月）

<議案第81号>

『藤井』 「時間外および休日勤務手当」についてそれぞれ増額補正の理由について問う。

『池田総務部長』 一般管理費は災害の対応、看護大学設立に関わるものが主なもの。保育所費は延長保育の増等によるもの。農業総務費は災害の復旧に伴うものが主なもの。土木総務費は測量、設計事務や、国の大型補正に伴う事務量の増加によるものである。

『藤井』 時間外および休日勤務手当は、予算的にも大きいですが、何よりも職員の健康管理上好ましくない。（予算面から考えて）各款毎の1人あたりの超過勤務時間数はいくらか。

『部長』 一般管理費が一人1月12.9時間、保育所費4.7時間、農業総務費13.3時間、土木総務費14.5時間である。

『藤井』 超過勤務をするにあたっての手順、ルール、制限等はあるか。

『部長』 時間外勤務は所属長が勤務命令を行う。午後10時以降の深夜に及ぶ場合、担当部長の命令によって行う。所属職員の健康管理は、月20時間を超える時間外勤務をした職員がいる場合は所属長に業務改善の喚起を行う。月60時間を超える職員には、希望に応じ産業医の面談指導を行っている。

*産業医：企業等で労働者の健康管理等を行う医師。労働安全衛生法に規定がある。

『藤井』 庁舎外などの超過勤務の場合、どのような対応をしているか。超過勤務に関して、職員の健康管理、予算の増の防止等のための対策について全庁的な取組はあるか。

『部長』 本庁舎の時間外勤務は退庁時刻を宿直者の方に届けるよう管理している。北庁舎などでは、退庁時に宿直の方に連絡、博物館や図書館等の施設ではタイムカードで管理をしている。会議等で庁舎を離れる場合は所属長に就業時間を報告している。場合によっては相互の協力体制を取ったり、業務分担の見直しを行っている。職員安全衛生委員会、庁風改革の検討を進めている。

<議案第106号>

『藤井』 新市建設計画 歳入について、①特別交付税はなぜ平成27年度以降6億6千万円で一定となっているのか。②平成26年度以降の分担負担金使用手数料には消費増税の増額分入っているか。③平成26年度事業で起債を伴う事業で主なものとその金額について問う。

『池田総務部長』 地方交付税の普通交付税と特別交付税の配分割合の変更を反映したものである。分担負担金使用手数料については、消費税の8%へのアップ分は入っていない。平成26年度の起債事業は、看護大学の建設補助金3.1億円、医療機器メーカーの誘致計画15.6億円、小中学校の耐震工事5.6億円等である。

『藤井』 普通建設事業費は平成26年度47億8千5百万円から平成27年度19億5千5百万円で、平成28年度以降も低い水準である。この点についての説明をお願いする。

『部長』 普通建設事業費については、各課の要求のあったもので必要不可欠なものを組み入れている。トータル的に事業枠として算入している。

『藤井』 地方税の伸び悩みや地方交付税、国庫支出金・県支出金も不透明な状況である。新市建設計画の展望について説明をお願いする。

『部長』 新市建設計画の財政計画は、現状における様々な状況を踏まえ将来設計を描いている。現時点では、財政計画は適正で持続可能なものであると考えている。

教育福祉常任委員会 平成25年12月11日、12日、16日

○委員会に付託された議案（補正予算、指定管理者の指定等）の審議

本会議 平成25年12月16日（月）

○委員長報告～付議議案の討論・採決

* 一般質問・議案質疑の詳細（藤井たかひろ分）、その他12月議会についての情報をホームページに載せていますのでご覧ください。

活動日誌(10月～1月中旬)

- 10/6 倉吉市議会議員選挙投票日 1501票(4位)
- 7 当選証書付与式
- 11 河北小音楽会,上北条小音楽会,伽羅木の会
- 23 市議会臨時会
- 25 市議会臨時会(所属委員会等の決定)
- 26 河北中学校区同和教育研究会
- 11/1 政治団体研修会
- 2 山守保育園閉園式
- 3 上北条まつり、上井まつり
- 8 議員懇談会
- 10 学校再編にかかる会、河北中学校内文化祭
- 11 県内4市市議会議員研修会(米子市)
- 16 上北条小学校餅つき大会・収穫祭
- 20 西中校区同研(倉吉西保育園,上小鴨小,西中) 市社会福祉大会
- 21 議会運営委員会
- 22 上北条地区教育を考える会
- 23 大平山植樹祭・芋煮会(上井公・倉吉北ライオンズ等合同開催)
- 25 議会全員協議会
- 12/1 市公民館まつり(未来中心)
- 2 12月議会(議案上程)
- 3 12月議会(一般質問)
- 4 12月議会(一般質問)
- 5 12月議会(一般質問)
- 6 大明倫会
- 9 議会運営委員会、12月議会(議案質疑)
- 11 12月議会(教育福祉常任委員会)
- 12 12月議会(教育福祉委員会)
- 16 議会運営委員会、12月議会(委員会)12月議会(採択)
- 20 議員懇談会(指定管理について)
- 1/3 倉吉市成人式
- 5 上井本町公民館落成式・祝賀会
- 12 市消防出初め式
- 14 議会運営委員会,臨時議会,新年祝賀会

<ホームページから抜粋しました>



悔いの残らないよう精一杯の選挙戦でした。できるだけたくさんの方とふれあうこと、政策を知ってもらうことを念頭に置きました。共に戦い支えてくれた友人達やスタッフや支援者の皆さん、投票して下さった方々に厚くお礼申し上げます。

山守保育園は、昭和50年に開設されてから38年間、地域の子育て支援の場として重要な役割を果たしてきました。子どもたちが新しい場ですくすくと育つこと、保護者や地域の方々の変わらぬご支援・ご理解をお願いいたします



河北中学校の文化祭を観た。「つながり～絆・続・継～」の下、生徒の作品展示や体育館での発表がなされた。学校としてのやる気・勢いを感じることができた。有意義な校内文化祭であった。

冷たい空気が肌を刺すように感じられる中、倉吉市消防出初め式が東巖城町河川敷スポーツ広場で行われた。最後は一斉放水であった。壮観である。消防団の皆さん、よろしくお祈りいたします。



藤井たかひろ(隆弘)のプロフィール

<経歴>

- 昭和28年1月 倉吉市余戸谷町生まれ
- 昭和51年3月 早稲田大学教育学部卒業,イトーヨーカドー入社
- 昭和57年4月 愛知県岡崎市立小学校勤務
- 昭和63年4月 三朝町立西小学校勤務 倉吉市立社小学校勤務
- 平成11年4月 倉吉市教育委員会事務局勤務
- 平成16年10月 倉吉市立明倫小学校長
- 平成21年4月 倉吉市立上北条小学校長
- 平成25年10月～ 倉吉市議会議員 教育福祉委員会副委員長 議会運営委員

<地域・PTA活動>

- 平成13～15年度 倉吉西高PTA副会長
- 平成16～18年度 倉吉北高PTA生徒指導研究部長
- 平成7年 上井地区社会教養部長会長
- 平成25年 上井地区産業土木部長会長

<趣味・資格>

- ・町歩き、写真撮影 ・登校ボランティア ・農作業と園芸作業、DIY
- ・読書、新聞などの切り抜き ・情報機器の利用(ホームページ、LINE、ネットサーフ等)
- 中・高社会科免許状、小学校免許状 ○庭園管理士(日本園芸協会) ○実践DIY講座修了(産業能率大学)



隆ちゃんの独り言



「アイズ」の1号がようやくできました。思いが伝わるよう自分なりに精一杯がんばりました。不十分な点、ご無礼な面もあるかと思いますがお許し下さい。後援会入会者の皆様やご支援いただいている方々等に出来るだけ早くお読みいただき、私の考えや活動の一端がご理解いただければ幸いです。「くらしよし倉吉」の発展のため、誠心誠意努力して参ります。皆様方のご健勝を祈念いたしますと共に、変わらぬご支援・ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。